

しんせつのね

令和7年8月1日発行〈第33号〉
『小さな親切』運動富岡支部
発行者 柳 澤 敦
事務局 富岡市富岡999-1
TEL 0274-64-3393
印刷 三 協 印刷



クリーン
作戦



フラワー
作戦



製糸場
除草作戦



実行章
表彰



ご挨拶

「小さな親切」運動富岡支部 代表 柳 澤 敦

「できる親切はみんなでしょう、それが社会の習慣となるように」をスローガンのもと、今年も活動を進めてまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



「小さな親切」運動 実行章 受賞者紹介 (令和6年度)

●敬称を略させていただきます。

No.	実行者氏名	実行内容
351	荻野アンドレーア (富岡)	親水公園と公園依りの高田川河川敷をグランド下迄、不燃物、ビニール、紙類等を45ℓポリ袋に7袋集めて取り除き処理して綺麗にした。
352	岡田大輔 (富岡)	石井さんが朝4時半頃新聞配達中に、市内の路上で道が分からなくなったなど話す70代の男性を発見し、新聞店・岡田社長に連絡。竹原さんに現場に来てもらい、社長が110番して富岡署に渡した。
353	竹原貞範 (一ノ宮)	
354	石井和男 (下高田)	
355	宇野利一 (富岡)	遠方から富岡製糸場を訪れるお客様の為に、手作りの地図を用意して、道案内を行っている。カイドツアーに参加する事をすすめている。

◆小さな親切を受けた方、目にされた方はいつでも富岡支部(実行委員)へご連絡下さい。◆

ノアくんとのおわかれ

今井 希

わたしには、2さいのときにとてもなかよしのノアくんというアメリカのお友だちがいました。

ノアくんは、日本に来たALTの先生の子どもでほいくえんで同じクラスになりました。

ほいくえんがおわって、園でいてわたしといつもいっしょにあそんでくれるようになったのはじめてのお友だちがノアくんでした。

ノアくんのママは、毎日のように、ノアくん「ジェントリー」「ピージェントリー」と話しかけていました。ジェントリーってなんだろう？と、そのときは、あまり気にしませんでした。

わたしは、今、えいごをならっています。

2さいのときにお母さんに、

「ノアくんとはしゃべれるようになりたい！」とそう言ってならいはじめたそうです。

そう言ったことはわすれてしまったけれど、ノアくんというなかのよいお友だちがいたことは、よくおぼえています。わたしがなくとハグをしてくれたりおすなばやすぶりだいでじゅんばんでなんどもあそびました。

えいごきょうしつでは、ならったスピーチを本を見ない

で言うのがむずかしいです。ふくしゅうしているときにしゅうちゅう力が切れてしまうこともあります。

この前りょこうに行ってホテルでとつぜん海外の人に話しかけられました。わたしは、はずかしかったけれど、おとうとのよっちゃん、ジェスチャーだけでその人をわらわせていました。

えいごは、むずかしいけれどとてもたのしいです。

ノアくんとは、3さいの夏にハグをしておわかれしました。今は、ハワイに住んでいるとお母さんが教えてくれました。いつかもっと大きくなったら、ハワイに行ってノアくんに会ってハグをして、上手にえいごでコミュニケーションをとりたいです。日本にあそびに来たおきやくさんや、困っている海外の人にも、えいごをつかってたすけてあげたいです。

そして、ノアくんのママに、

「あのときはジェントリーって言ってくれてありがとう。」とつたえたいです。

ジェントリーはおだやかにやさしく、しん切にといういみだそうです。

勇気ある一言

折茂 志帆

私たちは、夏休みに家族旅行に行きました。

「楽しかったね。」

「また、みんなで行こうね。」

とみんなで話していた時

「最後にみんなで写真撮るから並んで。」

とお父さんが言って、私たちは夏休みの最後の思い出に家族写真を撮ろうとしました。

「早く撮ろうよ。」

と私は言ってセルフタイマーで撮ろうとお父さんが写真の位置を見つけていた時、

「テイクアピクチャー？」

と一人の外人さんが声をかけてくれました。

「サンキュー」

と私たちは言いました。撮り終わった後

「代わりに撮りましょうか？」

とジェスチャーをしながら伝えると

「OK、大丈夫。」

と言ってくれました。

「サンキュー、バイバイ。」

と笑顔で別れました。そして私たち家族はその後、

「楽しかったね。撮れて良かったね。あの外人さんはとても勇気があるよね。私だったら、声がかけれない。」など、その外人さんの話をしました。そこで、私が逆の

立場だったらどうだったんだろう？と考えました。言葉が通じるか分からない人に声をかけるのはとても勇気がいります。もし、言葉が通じなくて、いやな顔をされたりしたらどうしようとか、声をかけたら変な人だと思われるかなとか考えてしまうと思います。きっとその人もきん張していたと思います。けれど、私たちに勇気を出して声をかけてくれました。その勇気ある一言で、私たちはとてもうれしくなりました。だから、私もこれからは、悪い方を考えるのではなく、私が勇気を出すことで、相手がもしかしたら助かるかもしれないと考えて、困っている人がいたら、助けたいと思いました。また、普段の生活の中でも、目の見えない人や耳の聞こえない人に会ったこともあります。そういう人たちも、きっと困っていたりすることもあると思います。その時に「大丈夫ですか。」「何か手伝いましょうか。」と勇気を出して声をかけられたらいいと思いました。ジェスチャーをしたり、表情で表現したり、優しい口調、言葉などで声をかけられたら、きっといやな気持ちをする人はいないだろうと思います。それでも、やっぱり知らない人に声をかけるのはとても勇気があることだと思います。そんなとき、今回の出来事の外人さんの笑顔と勇気を思い出して、私も勇気ある一言をかけたいと思います。

心を動かす言葉と行動

江原 維吹

僕は、4月から中学生になりました。初めての制服、初めての自転車通学、部活動など小学生のときより生活がガラッと変わり、慣れるまでとても不安でした。

中学校生活に少し慣れてきた5月、学校行事の廃品回収がありました。地域の人たちに事前をお願いしていたダンボールや新聞紙、空きカンなどを僕たち中学生が中心となって集めに行く日です。僕は、母親と一緒に決められた場所を回りました。各家の前においてある新聞紙などを運び始め、「重いなあ。」「暑いなあ。」という気持ちが大きくなりました。すると、わざわざ家の中から出てきて「ありがとうね。」「重いけどお願いね。」と声をかけてくれる人がいました。「ありがとう。」の言葉は魔法のようでさっきまでの気持ちが一瞬で吹き飛びました。そこからやる気が出て、どんどん回っていくと、今までとはレベルが違う量の新聞紙や古本、空きビンなどが山積みになった家にたどりつきました。さすがに、少し疲れていたで「もう無理だ。」「うそだろ。」「これ全部乗せられるかなあ。」と心の中でさげんでしまいました。母親と車のトランクを開け乗せ始めようとすると、その家

の人が出てきて、「こんなにたくさん出して大丈夫。」と声をかけてくれました。僕は、「大丈夫です。」としか言えませんでした。積み方に迷っているとその家の人も一緒になって積みこみを手伝ってくれました。適切なアドバイスのおかげで全てスムーズに積みこむことができ、達成感を味わえました。「やったあ。」と思わず声が出ました。たくさん汗をかいてとても疲れたけれど、「ありがとうございます。」「心から言葉が出てきました。笑顔で手伝ってくれた家の人に感謝の気持ちでいっぱいになりました。全ての家を回り終えて学校に持っていくと、みんなの驚く姿になんだか嬉しくなりました。初めての廃品回収でいろいろな気持ちを味わうことができ、とてもいい経験になりました。

今回の経験で、人の温かい言葉や、思いやりのある行動にふれ、マイナスに感じてばかりいた自分の気持ちがプラスに変わることができました。「親切」って、言葉でも行動でも伝わるのだなと感じました。思いやりの心を持って人のために何かをすること、僕も意識しすぎず、さりげなくできる人になりたいと思いました。

小さな親切

磯田 玲奈

私は夏休みに入ると思い出すことがあります。それは2年前の夏休みのことです。

家族の一員になったばかりのインコと一緒に祖父母の家へ泊まりに行った時のことです。皆で遊びに行き、祖父母宅へ戻った時、私は留守番してくれていたインコをかわいがるため、すぐにゲージを開けてしまいました。しかし玄関はまだ開いていたのです。インコは外へ飛んで行ってしまいました。私は必死で名前を呼びながら夜遅くまで探しました。野生動物に襲われてしまったのではないかと、自分の不注意で危険な目に遭っているかもしれない、命がどうなっているか。私はあの時ゲージを開けてしまったことをひどく後悔しました。

そして数日後、私たち家族は奇跡的に出会うことができました。伯母が投稿してくれたSNSを見て下さった方から連絡があったとのことでした。「検索しているインコに似ている子を保護しています。」とのことでした。私達はすぐに会いに行きました。うちの子で間違いはないか確認しました。顔も声も匂いも違うところはありませんでした。

保護して下さった方に同うと、祖父母宅から20km近く離れた工事現場で保護したとのことでした、野生の鳥ではないし、人懐っこいのでおかしいなと感じたそうです。

尚且つ、たまたまその方は鳥を飼育した経験があり、自宅に連れ帰り保護してくれていたそうです。きちんと段ボールで家を作りごはんもあげてくれていました。

その後インコの大冒険は我が家の笑い話になりました。笑い話にできるようになったのは、親切な方に出会えたからです。保護して下さり、偶然SNSを見てくれていたからです。この奇跡のような話により、今でも元気に暮らしています。そして伯母がSNSで検索の投稿をすると、何件もの応援メッセージがあり、無事に見つかったと報告すると温かい言葉が何件も届いたとのことでした。

人のために応援したり、励ましたり、喜びを共有したりすることは、すべてが小さな親切だと感じました。

「親切」とは当たり前のように当たり前でなく、とても難しい事だと思いました。私は、親切にしたい気持ちがあっても勇気がなく行動できないことがよくあります。しかしこの経験を通して勇気を持つことが大切だと感じました。大きな親切は難しいことかもしれませんが、小さな親切の積み重ねが、きっと勇気ある行動へとつながると思います。だから私は、いつも親切心を持って生きていきたいです。「親切」は相手も幸せにし、自分自身も幸せな気持ちになるものだと思います。



小さな親切運動 富岡支部を支える方々

個人会員

(敬称略)

(令和7年6月末現在)

湯川 嘉昭	大塚 和子	大手 治之	三田 照芳	黒澤 政利	辻元 幸子	丸岡 早苗	佐々木 伸
飯森 邦子	田中 昭子	田口 基	宮前 有光	黛 隆善	中村 喜雄	榎本 義法	清水 浩美
瀬瀬 敬人	須賀 正二	有賀 研一	柳澤 敦	松井 徹郎	堀口 順子	岩井 善彦	小金澤 聖
岡野 光利	津金澤 正洋	関根 雅秋	田村 佳司	矢 篤 豊	渡辺 悦男	北野 守男	大島 康弘
矢島 金光	茂木 宣四郎	堀口 良一	萩原 恵子	新井 良雄	富岡 紀夫	山田 今朝男	佐藤 信次
平本 栄一	入山 実	湯井 知昭	佐俣 静江	神宮 洋	木田 嘉之	白石 武彦	高橋 崇子
木本 裕之	碓井 良一	新井 昭三	富田 修栄	齋藤 希代子	白石 直樹	稲川 修	杉山 直人
高間 勇	工藤 茂樹	野口 邦子	横田 公男	池田 憲信	市川 鶴男	須藤 和明	北島 徹
増田 幸雄	石井 ふみ子	真砂 知恵子	小井戸 隆子	佐々木 建一	青木 一利	里見 立夫	小松 隆行
寺田 侑弘	中川 袈裟二	齋藤 勝也	横尾 秀光	黒澤 久美子	八高 文代	矢野 英司	岩崎 博和
小堀 良夫	佐藤 由喜枝	小金澤 章	毛呂 信男	茂原 正秀	小林 則子	桜井 豪樹	五十嵐 くらみ子
今井 清二郎	高橋 俊行	金庭 武男	横尾 恵子	村上 吉春	服部 幸雄	神澤 悟	清水 美鈴
磯貝 勝治	坂本 悟	小林 まさ	萩原 一章	黒澤 文雄	白石 敏之	太刀川 雄一	
平本 伊佐雄	西 欽也	宮澤 展彦	大塚 史則	秋山 雄治	永井 尚寿	中島 一雄	
中野 澄江	下田 裕紹	小柴 睦	大類 綾子	塩澤 哲哉	大河 原久由	萩原 太	



団体会員

富岡小学校	額部小学校	小野小学校	富岡中学校	富岡北中学校	富岡高等学校
西小学校	さくら小学校	高田小学校	富岡西中学校	妙義中学校	
高瀬小学校	黒岩小学校	妙義小学校	富岡南中学校	富岡実業高等学校	

協力団体

富岡歩こう会	富岡ライオンズクラブ	つくし学園	一般社団法人 富岡法人会
富岡市シルククラブ連合会		ガールスカウト第70団	スポーツ少年団

3S会員とは

3S ● Super ● Special Sponsor

超特別の援助者で多額の資金を提供していただいております。

3S会々員 (小さな親切運動富岡支部への特別協力企業)

タルヤ建設株式会社

本社 富岡市富岡2759
TEL 0274 62-3241
FAX 0274 64-2291

群馬県信用組合

「地域に貢献する」けんしんよう

南蛇井支店/南蛇井249-1 (67)2611
富岡支店/七日市871-1 (62)4131
一ノ宮支店/一ノ宮1713-2 (63)2337
妙義支店/妙義町上高田1186-1 (73)3239

高橋三兄弟法律事務所

所長 高橋 伸二

〒370-0961
群馬県高崎市八千代町2丁目1番1号
TEL (027) 325-6603 代
FAX (027) 325-9936

群馬銀行

(「小さな親切」運動県本部)

群馬銀行

小さな親切の会

編集後記

今回の「しんせつのわ」の編集には大変苦労しました。それは、小さな親切作文コンクールで全国入賞した作品が4編と、例年の2倍あったという嬉しい理由によるものです。全国入賞した作品は、是非皆さんに読んで頂きたく、割愛するわけにはいきません。そのために、富岡支部の活動計画を、残念ながら割愛させていただきました。もちろん活動は例年通り予定しています。

活動ごとに、会員の皆様や関係者の皆様には文書等を通してご案内させていただきますので、ご参加くださいますようお願い致します。

小さな親切作文や「小さな親切」運動実行賞を受賞された方々の取組を見ると、多様性や多角性への着目といったものが感じられます。とかく視野の狭さに起因するような出来事が多い昨今、本紙が皆様のものの見方への一助になれば幸いです。

会員を募集しています — 連絡は下記事務局まで —

● 富岡支部事務局 … 〒370-2316 富岡市富岡999-1 (上州富岡新聞販売内) ☎ 0274-64-3393

富岡支部 実行委員	名誉代表 … 磯貝 勝治	事務局次長 … 萩原 一章	実行委員 … 小柴 睦	実行委員 … 山田 今朝男
	代表 … 柳澤 敦	〃 … 大類 綾子	〃 … 神宮 洋	〃 … 佐々木 伸
	副代表 … 野口 邦子	会計 … 小林 則子	〃 … 佐々木 建一	〃 … 中村 喜雄
	〃 … 田中 昭子	〃 … 池田 憲信	〃 … 黒澤 久美子	〃 … 大河 原久由
	事務局長 … 黒澤 文雄	実行委員 … 金庭 武男	〃 … 村上 吉春	